

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス KID ACADEMY 戸屋校			公表日	2025年 2月 18日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	2	スペースが限られているので、卓上と床面での活動をわけたりしながら工夫しています。階段は必ず職員が付き添っています。学習しているお子様が集中できるよう、環境に配慮しています。支援中は死角ができないように利用人数に応じて指導員の配置などを徹底しています。	施設の構造は変える事ができないため、お子様がより良い環境で過せるよう、日々考えながら環境整備を行っています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	職員も送迎に出るので施設内の職員の人数、送迎時の安全確保も確認しながら設定しています。お子様の人数や特性に合わせて職員の配置を考えています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	3	事業所内の設備説明は、イラストや文字で表示してお子様わかりやすいようにしています。玄関に段差があり2階建てでバリアフリーではないですが必ず指導員が付き添っています。支援室の鍵はお子様すぐに開けられないようにしています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	毎日清掃、消毒を行っています。支援室のくぼみの部分はクールダウン出来る空間として使っています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	1	パーティションで仕切ったり、1階の一部空間で過ごしてもらうなどの工夫をしています。個別で学習をしたり、話をしたりする必要がある場合は、事務室にパーティションを設置して行っています。体調不良の場合など1階の事務室を使用しています。	事務室には物が多いので、体調不良等のお子様で過ごせるよう、整備したいと思います。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日業務前にその日の打ち合わせを全員で行っています。毎日終了時に支援に関する事など改善点を全員でミーティングをしています。問題点などはその日のうちに改善出来るように心がけています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	評価表のご意見を職員全員に周知し業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	児発管を通して話を聞く機会があったり、直接話し合ったりしています。振り返りやミーティングで意見交換をしています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	2	現在、第三者評価は行っていません。	今後必要に応じて検討していきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	法人内や法人外での研修を受講する機会が設けられています。良い支援・質の高い支援が提供できるように職員の支援力を高めるための学ぶ機会が多いと感じています。また、事例検討会も毎月行っています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	専門分野の意見や、他の職員とも意見交換しながら作成し公表しています。毎月のプログラムや日々のプログラムを職員全員で話し合い作成しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	保護者との面談からの聞き取り、お子様の希望などに沿いながら、職員全員で意見交換しその内容を客観的に分析した上で計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	職員全員で支援会議を行って計画書の内容について話し合い検討しています。	

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	全職員に共有され計画に沿った支援を行っています。	職員各自が計画書をすぐに見られるようにします。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	観察・記録は常に行っており、お子様の適応行動に合わせたアセスメントを行っています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「本人支援」・「家族支援」・「移行支援」を支援内容に踏まえております。必要に応じて「地域支援・地域連携支援」も組み込んで作成しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	日々職員間で現状の課題を共有し意見交換を行いながら活動プログラムを立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	活動によって参加が難しいお子様の場合などは内容を変更する等しています。そのお子様の発達段階を踏まえた活動の内容に個別対応をさせて頂いています。	活動が固定化しないよう、バージョンアップしていける内容にしています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	お子様の状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせた計画を作成しています。専門的支援においては専門職の先生が専門的支援実施計画書を作成し、個別での専門的支援を行っています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	支援開始前には必ず打ち合わせを行ない業務内容、支援の内容を確認しています。また、想定される出来事がある場合の対応も考えて情報共有をし支援をしております。職員間での声かけをしチームで連携して支援を行えるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	支援終了後には必ず全員で振り返りのミーティングを行っています。問題があれば、その日の内に解決出来るように努めています。次の支援に繋げられる様話し合いを設けております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	毎日、支援の記録を取っています。記録から情報を共有し支援内容を見直し、検討・改善をしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	半年に1回以上、職員全員で定期的にモニタリングを行っています。必要があれば適宜、モニタリングを行っています。	
関係機関や保	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	1	自立支援と日常生活のための活動、創作活動、余暇活動を含めた支援提供を行っています。安心・安全で放課後の居場所となるよう心掛けております。創作活動など経験をする事でお子様の興味関心を広げられるように工夫しています。地域交流の機会も今後増やしていきたいと思っております。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	1	支援中には自分で考える力を養っているよう、自己選択ができるような声掛けをし支援を行っています。意思決定を行う事で自信に繋げられる支援を提供していきます。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	保護者様、相談支援事業所、学校とのサービス担当者会議には児童発達支援管理責任者や専門職員、児童指導員などお子様の事を理解した職員が参加しております。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	学校の先生とはお迎え時などお子様の状況を共有をし、支援や活動を行う参考にしていきます。	ご自宅迎いで学校の様子がわからないお子様もいるので、その場合でも学校の先生と連携が取れる体制を整えていきたいと思っております。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	1	学校の行事予定などの情報共有を行って送迎時間などの変更の対応を適宜行っています。保護者様との同意の上、学校の先生と連絡調整を行うなどしています。	学校の先生とお話ができていないお子様もいるため、支援会議などを積極的に設けていき情報共有をしていきたいと思っております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	2	お子様が通われていた児童発達支援事業所と情報共有をして、途切れない支援を提供していけるよう努めています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	1	今後、障がい福祉サービス事業所へ移行するために必要があれば情報を提供していきます。	

護者との連携	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	3	発達支援センタークローバーの先生と連携を取り、困っている事案など助言を頂いたりしております。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	7	現在は行えていませんが今度、地域のお子様と交流する機会を設けていきたいと思えます。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	4	3	可能な限り参加するようにしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	送迎時など日々の様子をお伝えし、頑張っている事や成長している事、今後の課題や取り組んでいる事など情報を共有しています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	2	ペアトレーニングのカリキュラムや研修は行っていませんが、お家での関わり方や、お子様の特性からの行動の時の対応方法など助言をしたり情報提供を行っています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	契約時に説明を行っています。必要があれば適宜説明を行っております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	保護者様と面談を行い、アセスメントを取りお子様やご家族の意向を確認しております。保護者様からの要望や困り事など相談があった場合には電話や面談などを行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	説明し同意を頂いております。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	送迎時や電話などで相談に応じております。必要があればすぐに面談の機会を設けております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	6	1	父母の会や交流する機会を設けておりません。きょうだい同士で交流する機会も設けておりません。	進学、進路に不安が大きい保護者が多いので今後、情報提供の場としても、交流の機会があっても良いと思っております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	苦情受付については、重要事項説明書に記載し説明しております。事業所玄関にも、苦情受付対応の手順を掲示しています。苦情があった場合は迅速に対応できるように体制整備しております。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	毎月の活動を連絡帳に挟んだり、マンスリーレポートを発行し、その月の支援の活動の様子や事業所で取り組んでいる研修や安全対策などを発信しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	個人情報については守秘義務を順守し、個人書類などは鍵付きの書庫に保管しております。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	見通しが必要なお子様には事前に活動内容を伝えたり、視覚的に支援が必要な場合は視覚支援を活用するなど個々のお子様に合わせて配慮を行っています。また、保護者の方には送迎時や電話、公式LINEなども活用しながら円滑に情報伝達ができるように努めています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	1	現在は行っていませんが、今後は地域に開かれた事業運営を図っていききたいと思います。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	各種マニュアルを策定し、定期的に職員全員に研修、訓練を実施しております。その内容は毎月マンスリーレポートにてお知らせしております。	ご家族の方にはマンスリーレポート以外でも周知していけるように致します。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	業務継続計画を策定し、定期的に職員全員に研修、訓練を実施しております。避難リュックの中身、備蓄品なども定期的に点検しております。	

非常時等の対応	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	契約時に服薬、予防接種、アレルギー、てんかん発作について聞き取りをさせて頂いております。また職員全員に周知確認しております。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	事前に食物アレルギーに対する詳細を保護者に確認を行い、おやつ等に含まれないようにアレルギーチェックを行っています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	年度初めに安全計画を作成し、毎月研修、訓練を行い安全管理を徹底しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	契約時に、緊急時の連絡先やお子様を引き渡す際の保護者引き渡しシートに必要な情報の記入をお願いしています。玄関には「安全計画」を掲示しております。また毎月、マンスリーレポートに安全計画に基づく取組内容を記載し配布しております。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	ヒヤリハットや事故があった場合には記録を残し、職員全員で共有しミーティングを行い再発防止に向け対策しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	入社時と毎年1回虐待防止委員会を設置し、職員全員で委員会、研修を行って虐待防止に努めています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	身体拘束適正化委員会を設置し、職員全員で委員会、研修を行っています。今後身体拘束が必要となる場合は、お子様、保護者様に事前に十分に説明し了解を得たうえで放課後等デイサービス計画に記載致します。	